

バーコードリーダー設定表

(設定項目：レコードサフィックスの設定)

設定内容：レコードサフィックスの位置に任意のキャラクタを挿入することが出来ます。

設定例：“123456789 “の後に” Enter “を付けて” 123456789 と Enter “で送信する。






送信データフォーマット

STX	プリアンブル	桁数	プリフィックス シンボルID	読み取り データ	サフィックス シンボルID	ポスト アンブル	ETX	レコード サフィックス
-----	--------	----	-------------------	-------------	------------------	-------------	-----	----------------

◆USB インターフェース◆

下記のレコードサフィックスを1つ選択して読み取ってください。

(設定値を読み取ることで設定は完了です。)

無し	Tab
	
Return ◆初期値◆	Space
	
Enter(テンキー)	
	

※任意のキャラクタを挿入したい場合は、次のページで任意のキャラクタを行ってください。

レコードサフィックスに任意のキャラクタの設定する

以下のバーコードを順番にバーコードリーダーで読み取って下さい。

①：設定開始



②：レコードサフィックス設定



③：任意のキャラクタを設定



次のページの ASCII コード表を参照して任意のキャラクタをセット

して設定を終了してください。

ASCII コード表

HEX 値	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DEL	SPACE	0	@	P	·	P
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	Q
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	R
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	S
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	T
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	U
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	V
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	W
8	BS	CAN	(8	H	X	h	X
9	HT	EM)	9	I	Y	i	Y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	Z
B	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	FF	FS	,	<	L	\	l	
D	CR	GS	~	=	M]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	

設定例：プリアンブルに“1”をセットする場合

“1をセットする場合、” ASCII コード表の“1”がある場所が重要となります

“1”は横の列で4列目にあり、**横列の番号**で言うと「3」の列にあります。

“1”は縦の列で2列目にあり、**縦列の番号**で言うと「1」の列にあります。

よって、ASCII コード表の“1”は「3」「1」となり

設定用バーコードは **「3」「1」「セット」「設定終了」**と読み取ります。

設定用バーコード



0



8



4



C



1



9



5



D



2



A



6



E



3



B



7



F



セット



設定終了